

2013年6月15日 14-18時

第30回 SED 実践セミナーセデーショントレーニングコース

@大阪医科大学 MSSC 報告書

①開催形態

開催施設責任者：林 道廣（大阪医科大学附属病院医療技能シミュレーション室）

開催協力部門：医療安全管理室、医療プロフェッショナル支援室

開催講座責任者：南敏明（大阪医科大学麻酔科学教室）

②インストラクター

コースコーディネーター

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

インストラクター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

植木隆介 兵庫医科大学麻酔科

アシスタント

大地史広 大阪医科大学病院集中治療室

③参加者 19名

学内

初期臨床研修医 5名（1年次3名、2年次2名）

手術室看護師 6名

学外参加 8名

済生会兵庫県病院 内科	内科
テイクケア訪問看護ステーション	看護師
宝塚市立病院 看護部	看護師
藤田保健衛生大学病院	内科
公立南丹病院	内科
宝塚市立病院	看護師
国保中央病院 外来検査部	検査技師
大阪市立総合医療センター	内科

④コース内容と学習目標

	学習目標
講義	米国麻酔科学会「非麻酔科医のための鎮静鎮痛ガイドライン」の解説を重視 受講前にテキストを送付し、事前学習の推奨
カードを用いた シミュレーション	鎮静薬と鎮痛薬の分類、相互作用の把握
マネキンを用いた 緊急時気道管理ハンズオン	呼吸状態の評価を意識づけ(呼吸パターン、回数、SpO2 等)、酸素投与法、基本的気道管理(バッグバルブマスク、ラリンジアルマスクを始めとした声門上器具)の習得
シナリオディスカッション	術前リスク把握、準備、必要なモニタリング、投与時の評価等、緊急時対応を質問し、知識の再確認や整理
シミュレーション環境を用いた シナリオトレーニング	臨床での実践対応に関してシミュレーターを用いて習得

⑤開催風景

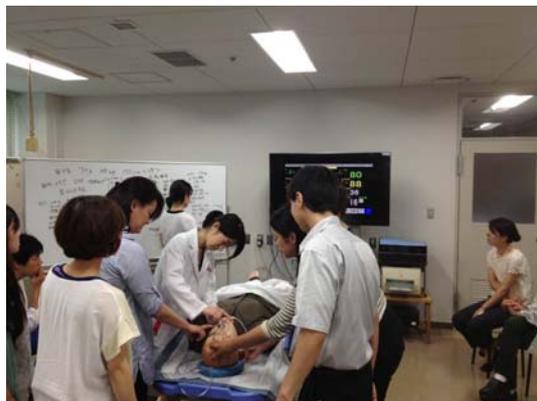
講義



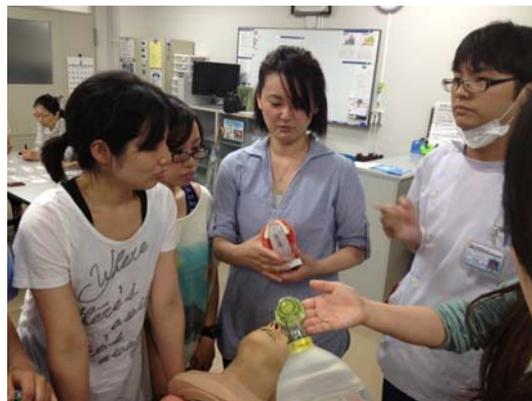
カードシミュレーション



気道管理ハンズオン



シナリオトレーニング



全体集合写真



⑥開催後のアンケート

19名の受講者からの回答を下記に記す

個人の鎮静についての改善点に関するもの

薬剤投与間隔を調整

患者の呼吸回数だけでなく、呼吸パターンも観察

鎮静前評価を綿密に行う

いびきの問診を行う

モニターだけでなく五感を用いたモニタリングをする

システムの改善点に関する感想

局所麻酔時の鎮静深度の評価と記録

緊急時の麻酔科等への連絡体制

緊急カート内の見直し(拮抗剤の常在)

モニタリングに対する取り決め

退室基準の明確化